

やまゆり ニュース vol.37



2022
6

麻生市民交流館やまゆり



新年度スタート

コミュニティ作りに 新しい展開を！

withコロナ時代の「やまゆり」に
ご期待ください



市民活動団体発表会



アクティブ・シニア講座



区民講師公開講座(気の活用法)



新年度を迎え、麻生市民交流館やまゆりの運営にあたる認定NPO法人あさお市民活動サポートセンターでは、5月22日に通常総会を無事終了しました。コロナ禍が日常となる昨今の状況を踏まえ理事・スタッフ一同新たな想いを持って新年度事業に踏み出したところです。

毎年開催している「目指せ！アクティブシニア講座」、「市民活動団体発表会」、「ワード・エクセル塾」、「区民講師公開講座」は従来通り開催を予定します。2年間にわたり開催を中止した「やまゆり楽芸会」、「新春やまゆり寄席」などについては、コロナ禍対策を講じながら開催方法を再検討するなどして、可能な限り復活を目指したいと思っています。また開催を見送らざるを得なかった事業の一部は、思い切って内容の衣替えを図るなど新しい展開も視野に入れることとします。第一弾は11月に絵画、書道、写真や陶芸など市民の皆さまの作品を展示する「アートフェス やまゆり」の開催を検討しています。各種事業の維持・復活・衣替えを通して、この場所が市民の皆さまの活動の場として一層楽しく利用できる施設になればと考えております。どうぞご期待ください。

やまゆりニュース vol.37 目次

4面		お役立ち情報 鎌倉時代を探す
3面		アミューズメント 変化に富んだ里山で 心身をリフレッシュ
2面		麻生(1/3) 麻生区誕生へ サプライズ 大切に保存されてきた 見事な彫刻

麻生市民交流館やまゆり 稼働状況の推移

年度	会議室利用回数		利用者数	利用登録
	平日(夜間)	土日祝	(人数)	(団体数)
令和3	629(104)	334	8,132	707
令和2	619(155)	145	5,316	749
令和1	1,223(408)	458	19,348	671
⋮				
平成20	874(118)	149	16821	421

新型コロナウイルスの関係で利用が落ち込んでいますが、徐々に回復しつつあります。



麻生区誕生へ一新駅の設定と農住都市構想

麻生区は1982年、多摩区からの分区分で誕生した。その8年前の74年、新百合ヶ丘駅が丘陵を切り開いて開設された。それは、この先にある多摩ニュータウンへと、小田急電鉄としては一刻も早く路線開発を進める起点としての「新駅」の設定であった。

この話が聞こえてきた69年頃、この地域に土地を持つ農家17世帯による「農住相談会」が立ち上げられた。当時の柿生農協組合長・鈴木新之助氏が「土地利用は自分たちの仕事である」と農家地権者を認識させ、強固な団結を図るべく指導した。「土地を売らないで、自分たちで街づくりを進めていく」という「農住都市構想」。この背景には、「百合丘の二の舞はしない」という思いもあったようだ。

1960年、日本住宅公団(現UR都市機構)によって、百合丘に団地が作られていった。その際、地元地権者は日本住宅公団に10万坪以上の土地を譲渡したが、団地と周辺の土地売買・宅地開発によって、地権者の生活基盤が少なからず喪失した。



基盤整備がほぼ終わった1985年の新百合ヶ丘駅周辺。写真左上に麻生区役所

これに対し、新百合ヶ丘駅周辺開発は、「土地を手放さないこと」を目標に、地権者の財産保全と経済的安定を図り、街づくりを進めていく考え。

また、百合丘からの延長地域開発として、大手デベロッパーが宅地造成。新駅(新百合ヶ丘駅)ができれば歩いていける所に分譲地がつくられ、残るは新百合ヶ丘駅周辺の開発という状況。

77年、「新百合ヶ丘駅周辺土地区画整理組合」が設立。80年、「上物建設マスタープラン」が発表され、82年、「新百合ヶ丘駅周辺広域的街づくり推進協議会」が発足。同年7月、麻生区が誕生、区役所が駅北口側に建てられ、駅周辺の造成工事はほぼ完成した。



大切に保存されてきた みごとな彫刻



小ぶりだが見事な彫刻で飾った本殿



龍と獅子の透かし彫り

麻生区白山4丁目の白山神社の本殿は、日光東照宮の流れをくむ、見事な彫刻で飾られている。正面両脇の柱には上り龍と下り龍がはめ込まれ、両側面と背面の板壁、腰壁、妻壁には、いろいろな表情の龍や獅子、鳳凰、仙人を飾っている。それぞれの彫刻は一本の樫(けやき)の透かし彫りで、細部に至るまで意をつくした質の高いもので、彫った人の技のすごさを感じる。

この本殿は間口3尺(約90cm)、奥行3.12尺(約95cm)総檜・素木(しらぎ)造り、屋根は柿(こけら)葺きで、正面や向拝には千鳥破風や軒唐(のきから)破風を付けている。嘉永3年(1850年)から4年にかけて建立され、造営の大功は地元助之丞と幸右衛門と伝えられている。日頃目にする拝殿は、昭和40年から41年に改築された。そのとき本殿は後ろのコンクリート造りの蔵の中に移されて、大切に保存されており、平成8年に市の重要歴史記念物に指定された。蔵の鉄扉は固く閉ざされており、見ることはかなわないが、拝殿横と境内左階段下のパネルや、神社が配るチラシの写真から、十分うかがうことができるので一度訪ねてほしい。

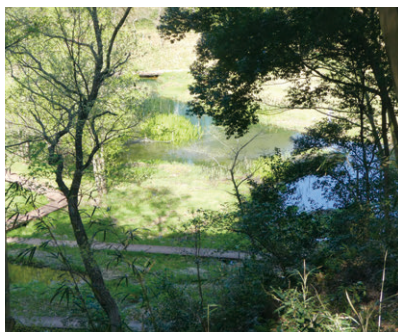


本殿両脇の彫刻
(右:上り龍、左:下り龍)

檜・素木(しらぎ)造り、屋根は柿(こけら)葺きで、正面や向拝には千鳥破風や軒唐(のきから)破風を付けている。嘉永3年(1850年)から4年にかけて建立され、造営の大功は地元助之丞と幸右衛門と伝えられている。日頃目にする拝殿は、昭和40年から41年に改築された。そのとき本殿は後ろのコンクリート造りの蔵の中に移されて、大切に保存されており、平成8年に市の重要歴史記念物に指定された。蔵の鉄扉は固く閉ざされており、見ることはかなわないが、拝殿横と境内左階段下のパネルや、神社が配るチラシの写真から、十分うかがうことができるので一度訪ねてほしい。



変化に富んだ里山で心身をリフレッシュ



コースを外れて水辺に下りる

4月の週末、「よこやまのみち」と呼ばれる黒川の近くの里山を楽しんだ。雑木林や水辺、大規模家庭菜園、展望台など変化に富んだコースは緑にあふれ、リフレッシュにお薦めだ。トイレがないので、駅ですます。多摩線はるひ野駅南口前の大通りをまっすぐ進み、右に曲がる辺りで正面の住宅街に入る。道なりに進むと「海道ひだ



こもれ日の雑木林はさわやか



展望台まであと一息だ

まり公園」の横に出る。右折して山道に入ると雑木林や水辺などが続く。途中「瓜生黒川往還」などの案内板があり、道なりに登っていくと、展望台「防人見返りの峠」に着く。ここまでは前半コースで約2キロ。展望台からは丹沢や秩父山系が望め、晴れた日には富士山が見える。ベンチや広場があるので昼食や休憩はここがいい。後半のコースは、前半のコースを戻ると途中で分岐点の案内板に出るので、これにしたがって「黒川駅、セレスモス」方面に右折して下っていく。雑木林が開けると黒川の農地に出る。道なりに進むと「黒川のセレスモス」へ。営業時間は15時まで（水曜休み）なので要注意。「汁守神社」から黒川駅へ。ここまで約2キロ。



鎌倉時代を探す



広福寺、謀反の罪で討ち取られる重成の墓がある

NHK大河ドラマの舞台は今、源氏と平氏の鎌倉時代だ。北条政子と弟の義時、政子の妹が出てくる。政子の妹はよみうりランド近くの小沢城の城主としてこの地を領した稲毛三郎重成に嫁いだという。にわかに興味をかきたてられ、源氏の時代がこの地に残した足跡はありやと調べる。一件の政子の妹は広福寺に墓があるという。行けば重成の作った寺である。案内碑には「源頼朝の妻、政子の実妹」とされる。「名前」がない。当時はどう呼ばれていたのだろうか？重成は晩年、枳形山の城に移り広福寺はそのふもとにある。源氏といえば義経や弁慶の逸話が圧倒的に多い。古沢には「九郎明神社」すばり義経名の神社があり「一夜をすごした」そう



小沢城址、急な崖の下には多摩川。関八州を監視



二枚橋、五反田川の支流をまたぐ小さな橋



九郎明神社、平尾に抜ける道が往時を偲ばせる

弁慶は通りがかりに橋を修理し「二枚橋」を、「王禅寺見晴らし公園」では乗っていた馬の鞍につるした鍋を谷底に落とし「鍋ころがし」の言い伝えを残した。真偽はともかく史跡を訪ね歩くと歴史への思いはひとしおである。

令和4年度 地域コミュニティ活動支援事業

4月15日の審査会を経て、令和4年度「地域コミュニティ活動支援事業」として、6団体が選ばれました。
イベントなどの開催にあたってはチラシ等が区内に配架されます。多くの方の参加をお待ちしております。



4/15に開催された審査会の風景

あさお和風の会

和風つくりでコミュニティ作り

和風つくりと和揚げ大会を通じて子供たちのモノつくりの楽しさと創造性を養い、地域社会の世代間交流を促進することを目的としています。地域の大学との連携を図り、和風つくりの指導員となる人材を募集しています。

本年度は、川崎市の重点課題として展開している寺子屋、子ども会などの未参加団体にアプローチし、一層地域のコミュニティ作りに貢献したいと思います。

こどもしんぶん部

こどもしんぶん

こどもしんぶん部をきっかけに街を知ること、より自分の街が好きになり、生活が豊かになります。子どものユニークな視点で街の魅力を発掘できたら、大人も地域がもっと好きになると思い、活動しています。

取材・記事作成などを通し、子ども達が自然に楽しく探求心や表現力を身に付け、学校・家庭だけでなく、新たな居場所や仲間づくりをしています。

音楽ユニット Pentas

「Sing! Move! Smile!」コンサート

その日、その場に集った人と一緒に、音楽を奏で、共に舞台空間を創ります。幅広い世代、性別、生活環境の人が、同じ経験や楽しさを共有できる「場」を提供することで、コミュニケーションの輪が生まれることを願っています。本年度は地域の方からの声に応え、実際に音を奏でたり、体を使った表現を楽しむような、音楽を体で感じられるワークショップの開催も目指します。

特定非営利活動法人 岡上アグリ・リゾート

次世代につなげる地域資源
農と保育の農育プロジェクト

2022年生産緑地法の改正により都市部の農地は宅地化が可能となる。現在、川崎市の面積のうち農地はわずか3%、さらに宅地化されると次世代の子供たちに残すべき地域資源は？

親子で農業に興味を持って！農業に触れて！そんな機会を作りたい。麻生区には名産の野菜「万福寺人参」がある。しかし生産性が低く市場に出回らない。そんな野菜を親子で育て学ぶ機会を作りたい。

アートロジ麻生

アートロジ片平

麻生区内を流れる片平川の遊歩道脇のコンクリート擁壁に6脚のポスター用フレームを設置し、道行く人々がアート作品を楽しんでもらうスペースとして開放する計画です。展示する作品は地元に関連するもの、区民から公募したもの、地元の作家のものとし、この一画が地元人々の心の交流の場となること、人々が地元を、地元の人々の営みをより深く知る機会となることを目指しています。

総合型地域スポーツクラブ 金程中学校区 わ・わ・わ・クラブ

総合型スポーツクラブの認知を高め、
区域外からも新規会員を受け入れる事業

当クラブは、麻生区に2つある総合型地域スポーツクラブのひとつで、金程中学校区内に在住の方が会員対象となっている。

本年度から区域外でも公共交通手段で参加できる方を対象に、多くの方を当クラブの会員として受け入れ、クラブライフを楽しんでもらえる体制を整える計画しており広報活動や受入準備など一連の取組みを、当クラブの新規事業として取り組む予定です。

麻生市民交流館 やまゆり



ホームページ更新中 ▶▶▶



開館日

月～金 9:30～17:00
平日の夜間 ～20:15

※土・日・祝日も予約をすれば利用可

休館日

年末年始、施設点検日

アクセス

小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩4分

住所

〒215-0021
川崎市麻生区上麻生1-11-5

TEL

044-951-6321

